

経済指標レポート 第253号

(社) 関西経済連合会 経済調査部 (担当: 田村)

Tel: 06-6441-0102 Fax: 06-6441-0443

10～12月期実質GDP成長率 ▲3.3%と、急速に悪化

内閣府が発表した10～12月期四半期別実質GDPの成長率は、季節調整済前期比▲3.3%(年率▲12.7%)と急速に悪化し(表1)、4～6月期、7～9月期に続き、3四半期連続のマイナスとなった。10～12月期の大幅なマイナスは、外需悪化の影響(外需寄与度: ▲3.0%、内需寄与度: ▲0.3%)が大きい(表2)。10～12月期の財貨・サービスの輸出入を見てみると、輸出が実質▲13.9%(7～9月期0.6%)、輸入が実質2.9%(7～9月期1.7%)と、輸出が大きく減少している。

関西においても、近畿経済産業局が発表した近畿経済の動向(12月の指標中心)によると、12月鉱工業生産が前月比▲5.5%と急速に低下。(12月在庫は前月比0.5%と5ヶ月連続で上昇しているものの、上昇幅は前月と比べると縮小)。個人消費については、12月の大型小売店販売状況は前年同月比▲6.5%(既存店ベース)とマイナス幅が拡大。加工食品等が好調であったことからスーパーの飲食料品は前月比プラスとなったものの、デパートでは飲食料品もマイナスとなり、その他の商品については前年同月比すべてマイナスとなった。大阪税関が発表した近畿圏貿易概況によると、12月輸出は、前年同月比▲29.1%となり、EU、アジア、中国では30%超の減少。結果、10月以降マイナスに転じた2008年輸出伸び率は、▲0.7%と7年ぶりのマイナスとなった。

内閣府が実施する景気ウォッチャー調査(地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握する)の結果を見ても、原油相場や穀物相場の下落に伴う物価の一服感から収益改善、消費回復の見通しもあるものの、家計、雇用関連で、現状、先行きとも、雇用調整、所得面の悪化がさらに進むことから総じて悲観的な見方となっている。企業関連でも、設備投資に関する引き合いの減少や、在庫調整のめどが立たないことから更なる悪化を見込む声が多い。

100年に一度といわれる経済不況下、需給ギャップは20兆円を超すとの試算も出されている。09年度予算案・同関連法案成立後、政府・与党はただちに追加経済対策を策定すべきとの声が高まっている。早期の経済回復に向け、政治の強いリーダーシップによる速やかな対策の実施を望みたい。

表1

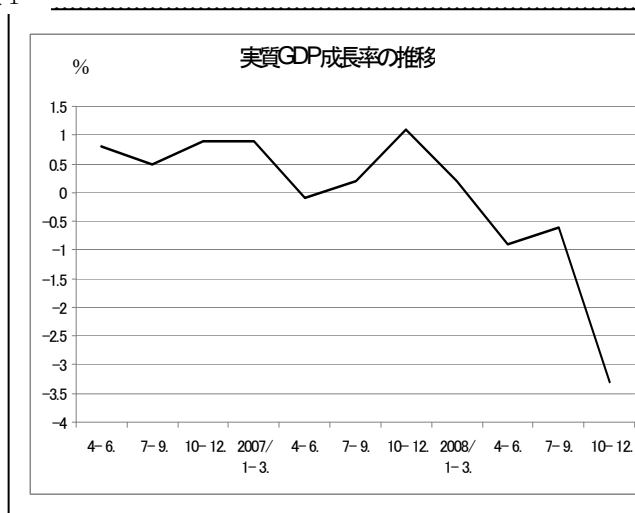
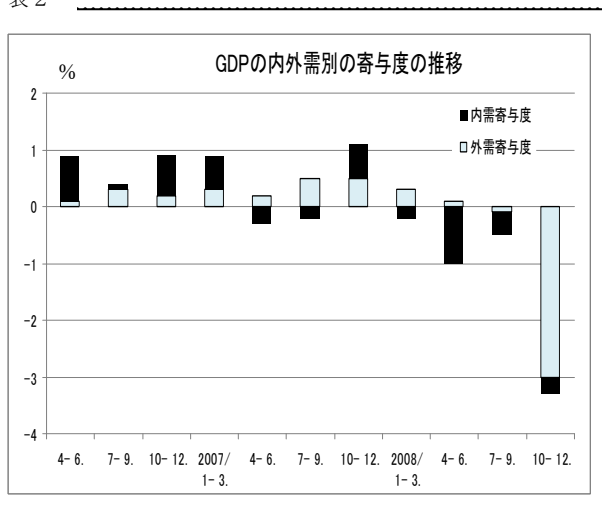


表2

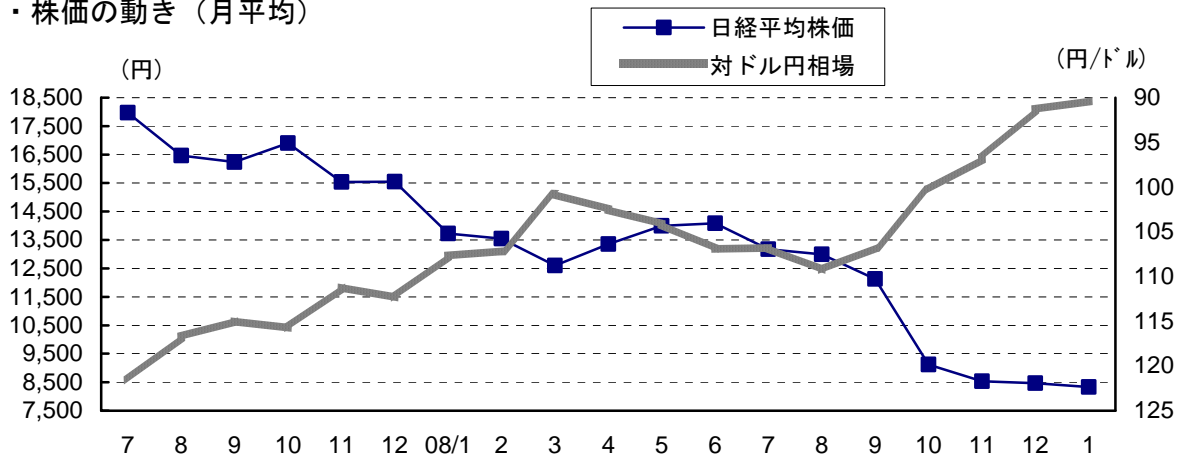


出所: 内閣府資料

関西経済の動き(12月指標をもとに)

09年1月日経平均株価は8,331円に下落、円/ドルレートは90.41円とさらに円高が進行した。
 12月鉱工業生産動向は、多数の業種で生産が低下した。
 12月輸出の伸率は▲29.1%。アジア向け、EU向けは30%を超えるマイナス幅となった。
 12月大型小売店販売額は、飲食料品を除き、引き続き下落。
 12月消費者物価指数は、0.4%増と上昇しているものの、伸び率は鈍化。

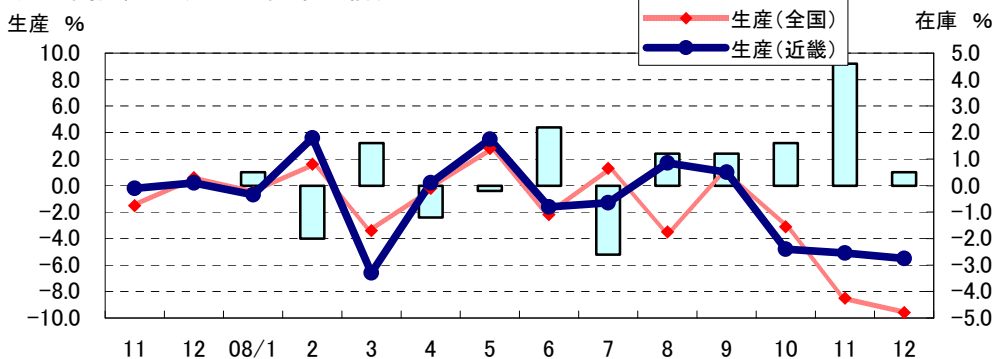
円・株価の動き(月平均)



出所: 日本経済新聞社

生産・機械受注

鉱工業指数 生産及び在庫(前月比)

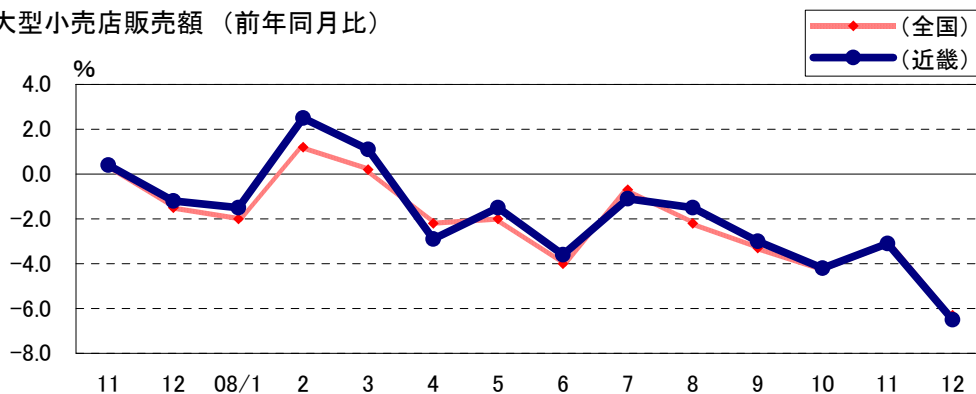


出所: 近畿経済産業局 資料

◇近畿は前月比 5.5%減、3ヶ月連続の低下。業種別では、鉄鋼業、化学工業(除、医薬品)、電気機械工業などが下落。

消費・住宅

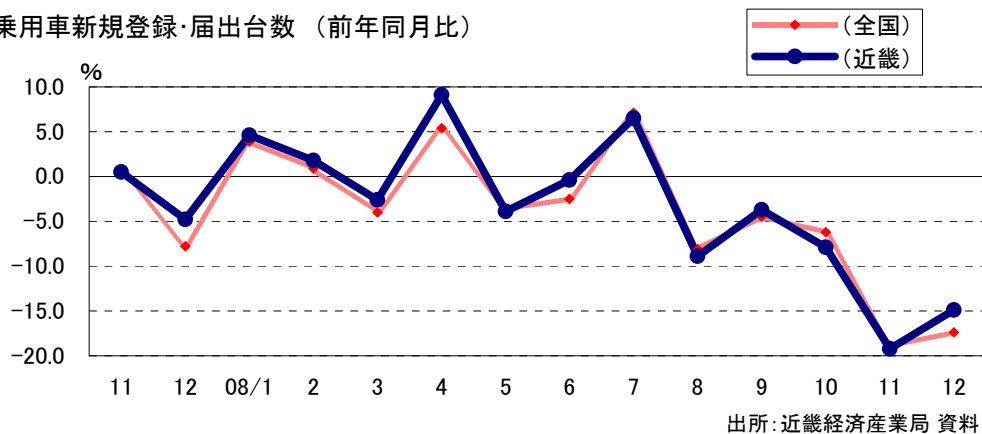
大型小売店販売額(前年同月比)



出所: 近畿経済産業局 資料

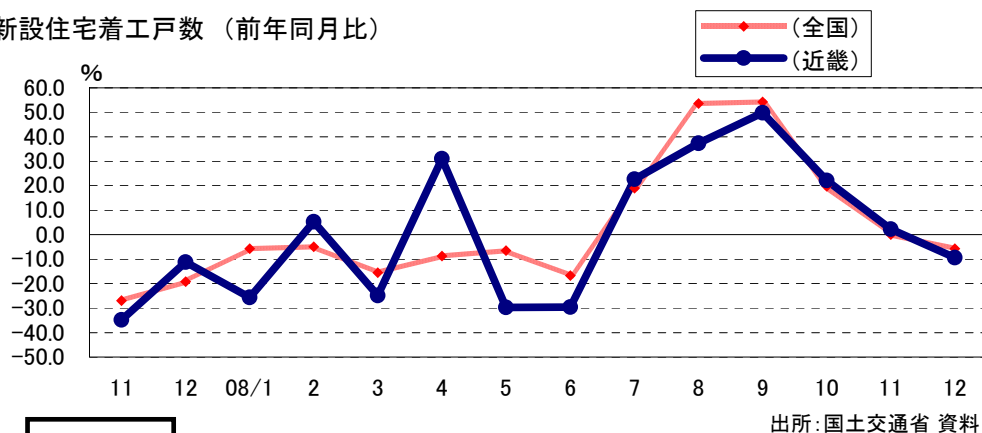
◇近畿は既存店ベースで前年同月比 6.5%減と9月連続の減少。業態別では、百貨店が同10.2%減で10ヶ月連続のマイナス、スーパーは3.4%。コンビニエンスストアはtaspoカード導入の影響で同7.9%増と9ヶ月連続のプラスとなった。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）



◇近畿は前年同月比14.9%減と5ヶ月連続で前年を下回った。軽四車は3ヶ月ぶり、普通車及び小型車は5ヶ月連続で前年を下回った。

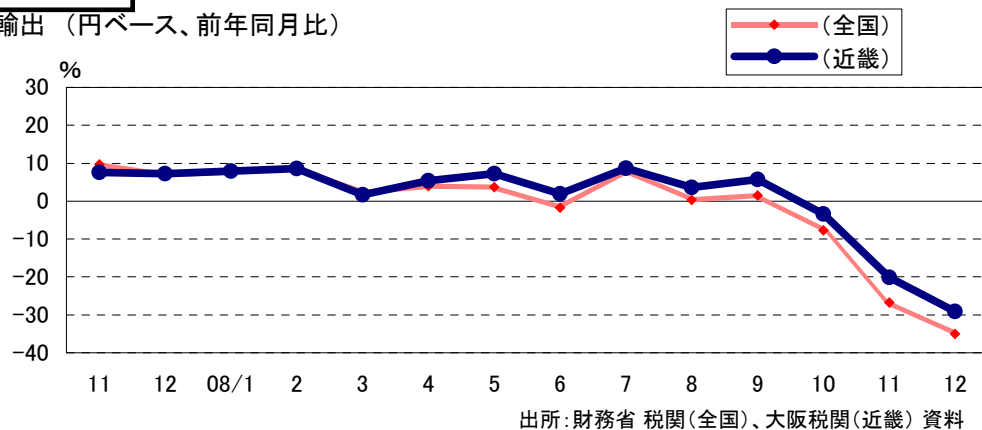
新設住宅着工戸数（前年同月比）



◇近畿は前年同月比9.4%減と、6ヶ月ぶりの減少。持家は3ヶ月連続、分譲住宅は2ヶ月連続で前年を下回ったものの、貸家は6ヶ月連続で前年を上回った。(マンション発売戸数は、前年同月比30.4%減で4ヶ月連続で前年を下回った。契約率は、好不調の目安である70%を12ヶ月連続で下回った。)

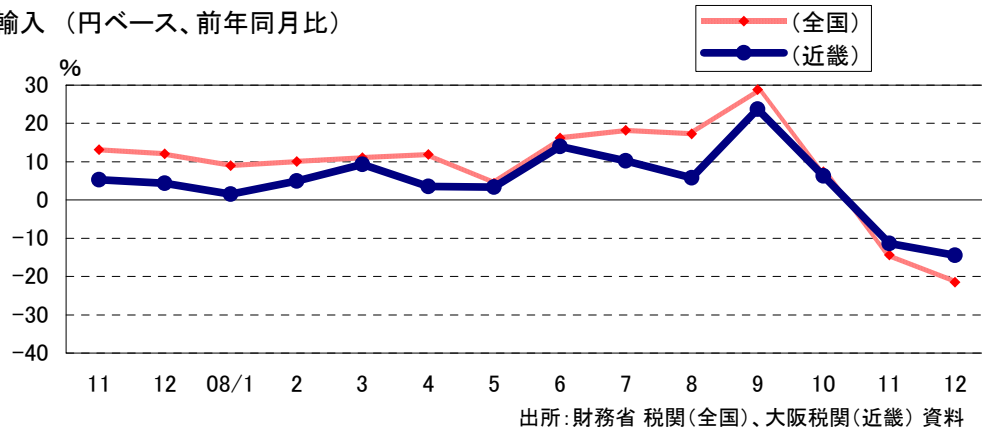
輸出入

輸出（円ベース、前年同月比）



◇近畿は前年同月比29.1%減となり、3ヶ月連続のマイナス。アジア向け31.4%マイナス、中国向け33.5%マイナス、アメリカ向け24.1%マイナス、EU向け31.1%マイナス。品目別では、電気機器、一般機械、化学製品などがマイナス。

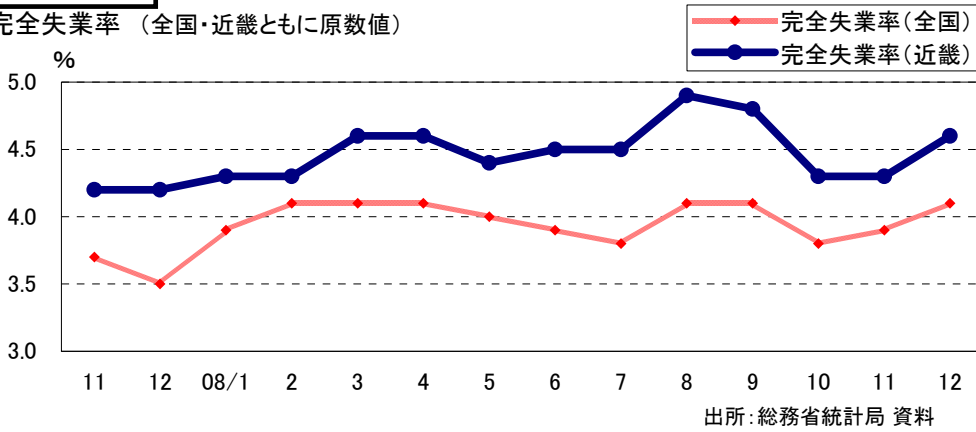
輸入（円ベース、前年同月比）



◇近畿は前年同月比14.5%減で2ヶ月連続のマイナス。

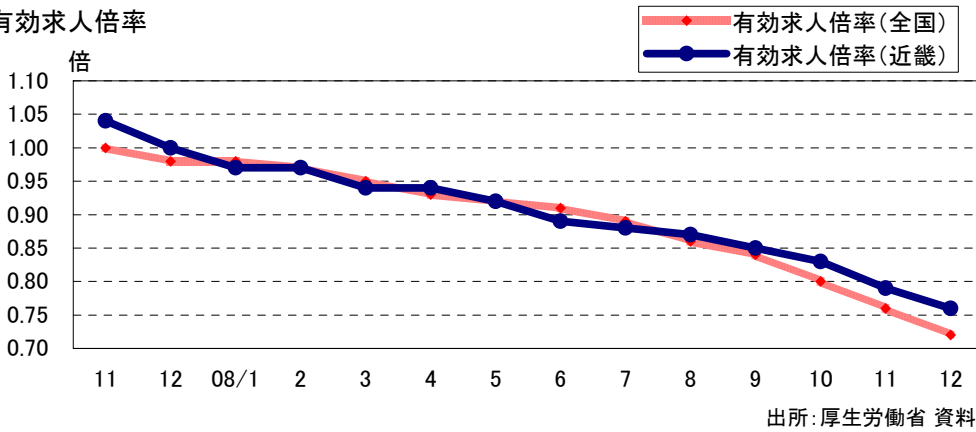
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



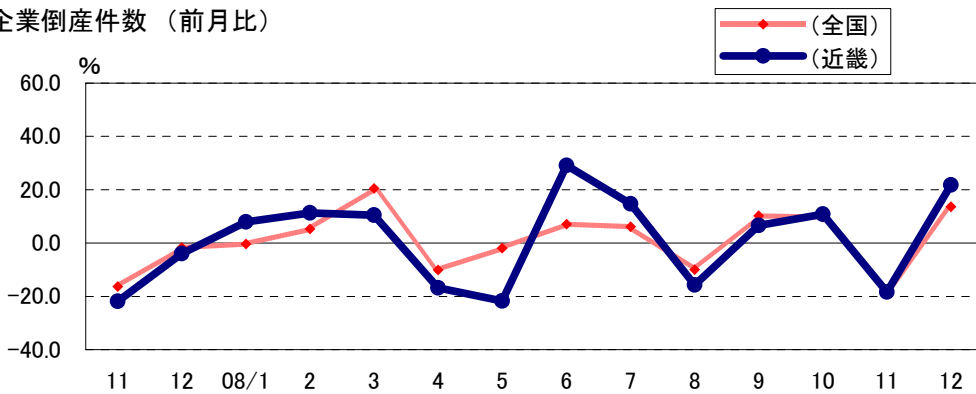
◇近畿の完全失業率は4.6%、2ヶ月連続で悪化。全国は4.1%。

有効求人倍率



◇有効求人倍率は、近畿0.76倍となり前月(0.79倍)から低下した。新規求人倍率は、1.02倍と前月(1.08倍)から低下した。

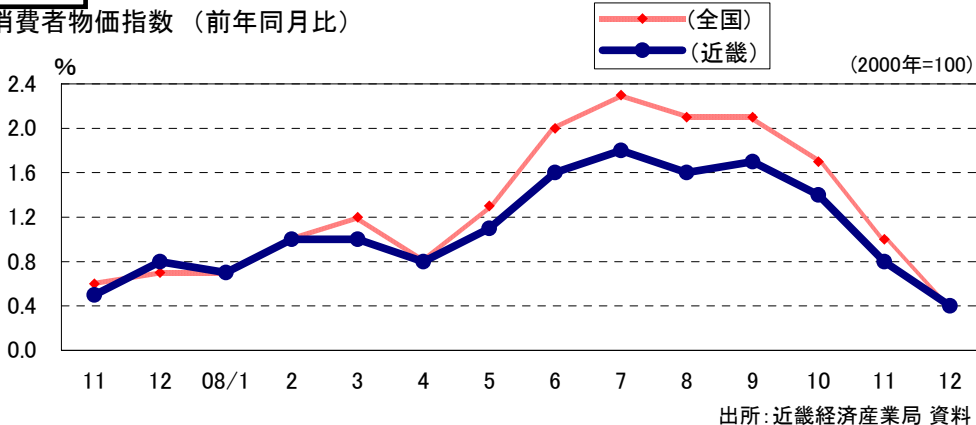
企業倒産件数（前月比）



◇近畿の倒産件数(法的整理による倒産)は前月比13.6%増。前年同月比26.9%増。負債は、前月比79.4%増、前年同月比では、304.2%の大幅増。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



◇近畿は101.1で前年同月比0.4%上昇。15ヶ月連続の上昇だが、伸び率は鈍化。品目別では、食料、光熱・水道が上昇。